

## 「動物考古学」遺跡出土動物遺体調査速報・報告の手引き

### 1. 掲載内容

会員が遺跡発掘報告書、論文、あるいは学会発表などの形で公表した遺跡出土動物遺体の調査内容。国や時代は問わないが、表記は日本語もしくは英語とする。「動物考古学」の当該号発行年およびその前年の報告を優先的に掲載するが、それ以前の報告も補遺として掲載することがある。

編集委員会もしくは役員会において内容が掲載にふさわしくないと判断された場合には掲載を認めない場合がある。

### 2. 掲載項目

以下の13項目を掲載する。なお、\*で示した情報は必須とする。

- \*①遺跡名
- \*②遺跡名の読み
  - ③調査地点名もしくは調査年度
- \*④遺跡の所在地
  - ⑤緯度と経度
- \*⑥調査報告の出典情報：遺跡発掘報告書や論文の書誌情報、あるいは学会発表の要旨集など。  
出典情報の記載は「動物考古学」の引用文献の記述形式に準じる。
- ⑦動物骨の所属時期
- ⑧同定者：複数人による報告の場合、作業分担の記載が望ましい。
- ⑨採集方法：水洗選別の有無や節目の大きさなど。
- \*⑩確認した分類群の名称：1)貝類、2)節足類など、3)棘皮類、4)魚類、5)両生・爬虫類、6)鳥類、7)哺乳類に分けて記載。一部分類群のみ、主体種のみでの記載も可。
- ⑪各分類群の同定破片数（NISP）：上記1)～7)の各分類群のNISPの合計。実数もしくは記号（C: 1～10点、B: 11～100点、A: 101～1,000点、S: 1,001～10,000点、SS: 10,001点以上）で示す。  
水洗選別資料とピックアップ資料がある場合、a. 水洗選別資料のみ、b. ピックアップ資料のみ、c. 両資料の合計のいずれでも可。
- ⑫備考（150字以内）：出土遺構や焼骨の有無、解体痕・加工痕の情報など。水洗選別資料とピックアップ資料がある場合には上記a.～c.の別を示すことが望ましい。
- ⑬特記事項（150字以内）：特筆すべき成果など。

### 3. 報告方法および報告先

所定のExcelフォーマットに入力の上、下記宛てにデータをお送りください(メールが望ましい)。

「動物考古学」編集委員会： E-mail：edamsk@museum.hokudai.ac.jp（学会アドレスとは異なりますのでご注意ください）

〒060-0810 札幌市北区北10条西8丁目 北海道大学総合博物館学 江田真毅  
Tel: 011-706-4712 Fax: 011-706-4029